

創立30周年記念学生コンペ

30年後の 建築設備と社会

～2050年の社会を考えてみよう～



私たちの生活の舞台である建築や都市を支える「設備」というエンジニアリングの進化を大胆に予測し、30年後の2050年の社会を想像してもらいたい。30年後の諸君が活躍する社会はどんな姿だろうか。

応募資格

- ・応募時に、大学(大学院も含む)、高等専門学校、高等学校、専門学校等に在学中であること。
- ・応募は個人でもチームの作品でも可としますが、一人あたり1点の応募に限ります。

提出締切

2019年3月15日(金)必着

提出作品の書式等と提出方法

- ・図面(縮尺自由)、ドローイング、模型写真、文章など、自分の提案を自由な表現手法で示したものをA2版用紙1枚(片面横使い、縦420mm×横594mm)におさめ、提出して下さい。

<http://www.jabmee.or.jp/>




最優秀賞

奨学金 **30** 万円(1点)

優秀賞

奨学金 **10** 万円(2点)

佳作

奨学金 **1** 万円(数点)

**同時
開催**

せつび萌えフォトコンテスト

応募資格

どなたでも

応募作品

六つ切・四つ切・
A4サイズのみずれか、
7リットル未満のものに限る

提出締切

2019年3月31日



30年後の建築設備と社会～2050年の社会を考えてみよう

募集要項

課題説明

この夏は暑かった。しかし、空調があるために人は快適に平常の営みをする事が出来る。また、照明があるために夜も明るみを失わず、給水・排水によって清潔で健康的に過ごす事が出来る。私たちの生活の舞台である建築や都市は「設備」というエンジニアリングに支えられて機能しているが、人はそれを当たり前と思い、その存在に気付かない。

このコンペでは緑の下力持ちであるエンジニアリングの進化を大胆に予測し、30年後の2050年の社会を想像してもらいたい。なお、エンジニアリングは広く捉えていただいて構わない。エネルギーやインターネットなどの進化が社会を変えつつある現在から見て、30年後の諸君が活躍する社会はどんな姿だろうか。

応募資格

- ・応募時に、大学（大学院も含む）、高等専門学校、高等学校、専門学校に在学中であること。
- ・応募は個人でもチームの作品でも可とするが、一人あたり1点の応募に限る。

提出締切

2019年3月15日（金）必着

- ・郵便、宅配便などを使って送付。締め切り日後に到着したものは受理しない。
- ・直接持参による提出は受け付けない。
(締切後、受領確認のメールを代表者へ送付します。3月末日を過ぎても通知が届かない場合は、提出先の電話番号へ確認してください。)

提出先

〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6 12東洋海事ビル
一般社団法人 建築設備技術者協会 学生コンペ係
電話：03-5408-0063

提出作品の書式等と提出方法

- ・図面（縮尺自由）、ドローイング、模型写真、文章など、自分の提案を自由な表現手法で示したものをA2版用紙1枚（片面横使い）におさめ、提出。
- ・ケント紙あるいはそれに類する厚紙とし、表現は鉛筆、インキング、着色、写真貼付、プリントアウトなどいずれでも可とする。ただし、パネル化しての提出は不可。
- ・提出作品には、応募者の所属や氏名等がわかる内容を表面には一切記入しないこと。
- ・別途、ホームページにアップされている所定の応募用紙に、必要事項（氏名、自宅住所、電話番号、メールアドレス、学校名など）を記入して、作品の裏面に貼り付けること。
- ・作品は折り曲げずに丸めて送付すること。

- ・応募作品は未発表のものに限る。学校の課題として制作し、学校内だけで公表されたものは、未発表作品として扱う。
- ・応募作品は返却しない。必要な場合は予め複製を作っておくこと。
- ・以上の各点が守られていない作品は審査対象としない。

審査員

審査委員長	野部 達夫（工学院大学）
審査員	赤司 泰義（東京大学）
	瀧川 義就（朝日工業社）
	那須原和良（清水建設）
	村上 正継（MURA設備設計事務所）
	柳井 崇（日本設計）
	山下 浩一（建築設備技術者協会）

賞

最優秀賞	：1点	奨学金	30万円
優秀賞	：2点	奨学金	10万円
佳作	：数点	奨学金	1万円

審査結果の公表など

- ・厳正に審査を行い、入賞者への郵送及びホームページ上で審査結果を公表する予定。
- ・受賞作品は、2019年6月27日（木）に予定されている30周年記念式典で展示及び表彰を予定。

その他の注意事項

- ・作品の著作権は応募者にあるものとするが、入選作品については広報用の使用権を当協会に帰属するものとする。
- ・上記以外の事項に関しては応募者自らが判断することとし、電話等での問い合わせには応じない。

30年後の建築設備と社会～2050年の社会を考えてみよう

応募用紙

<p>氏名・年齢</p> <p>※チームの場合は全員の氏名・年齢を記載</p>	<p>(代表者)</p> <p>(歳)</p> <hr/> <p>(歳)</p> <hr/> <p>(歳)</p> <hr/> <p>(歳)</p>
<p>代表者 住所・連絡先</p> <p>電話</p> <p>メールアドレス</p>	<p>〒</p>
<p>所属</p> <p>学校名</p> <p>学科又はコース</p> <p>学年</p> <p>※応募者全員について記載</p>	

せつび萌えフォトコンテスト

募集要項

コンテストの主旨

建築設備を皆様の視点で撮影してください。

建築設備とは、通常エアコンなどの空調設備、上水、下水などの給排水設備、それと照明などの電気設備を言いますが、このコンテストではそのような観念にとらわれずに、撮影者の皆様がこれかと思う建築設備を見出してください。

普段建物の裏方であり、目を引かない建築設備ですが、その姿、形を写真として捉えることにより、機器、配管の機能、性能とは異なる設計者や施工者の思いが見えてくることがあります。また、機能を越えた「美」や「おもしろさ」が見えてくることもあります。

このような「せつび萌え」の写真を広く募集します。

応募の資格

- ・資格は問いません。

応募作品の形式

- ・サイズは、六つ切、四つ切、A4のいずれかとし、プリン
トしたものとしてください。(データでの受け付けはいた
しません)
- ・カラー、白黒は問いません。
- ・応募は1人1点とし、組み写真は不可とします。
- ・応募作品は未発表のものに限ります。
- ・応募作品には、ホームページにアップされている応募用
紙に以下を記し、応募作品の裏面に貼り付けてください。

- ①作品名(自らつける)
 - ②建物名/設計者名/施工者名
 - ③撮影意図・アピールポイント(20～50文字程度の文章)
- ※①と③は必須です。

応募方法

締切 2019年3月31日(日)消印有効

- ・下記住所に、郵送または宅配便で送付してください。
〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6 12東洋海事ビル
一般社団法人 建築設備技術者協会
フォトコンテスト係
電話 03-5408-0063
- ・応募作品は返却いたしません。

審査

- ・協会内で審査を行います。

賞

- | | |
|---------|---------|
| 最優秀賞：1点 | 5万円の商品券 |
| 優秀賞：3点 | 3万円の商品券 |
| 佳作：数点 | 1万円の商品券 |

審査結果の公表

- ・厳正に審査を行い、入賞者へ郵送及びホームページ上で
審査結果を公表します。
- ・受賞作品は、2019年6月27日(木)に開催される一般社
団法人 建築設備技術者協会創立30周年記念式典で展示
及び表彰します。

その他の注意事項

- ・作品の著作権は応募者にありますが、入賞作品につい
ては、広報のための使用権を当協会に帰属するものとしま
す。
- ・入賞作品は、当協会の会誌「建築設備士」(月刊)の表紙
に使わせていただくことがあります。
- ・電話等での問い合わせには応じられませんので、予めご
了承ください。

応募用紙

- ・別添

※これまでに会誌「建築設備士」の表紙を飾った写真を参
考までに添付します。なお、これらの写真はほんの一例
であり、皆様の視点で良いショットを探してください。

せつび萌えフォトコンテスト 応募用紙

※は必須項目です

①氏名・年齢※	(歳)
②住所・連絡先※	〒
③電話※	
④メールアドレス※	
⑤写真題名※	
⑥建物名	
⑦設計者名	
⑧施工者名	
⑨撮影意図・ アピールポイント※ (20字～50字程度)	

応募作品の裏面に貼り付けてください。

2018年4月号



施設名：上野フロンティアタワー
 事業者：(株)大丸松阪屋百貨店
 設計：(株)三菱地所設計
 施工：竹中工務店・関電工・ダイダシ・高砂熱学工業・須賀工業
 解説：建・電・空の三社が一体となって取り組んだ屋上室外機ユニット
 投稿者：田澤佑太（関電工）

2018年5月号



建物名：カフェ・レストラン シブレット
 (埼玉県比企郡小川町)
 解説：ARROSER LES FLEURS (すてきなカフェレストランの庭先風景～お花の水やり散水栓)
 投稿者：山下開（日建設計）

2018年6月号



建物名：長崎県庁舎
 設計者：白土弘貴・佐藤孝輔・松村早千絵（日建設計）
 解説：引込回線毎に三原色で着色した特高変圧器（22kV SNW方式）
 後方接地端子盤の黄色は長崎カステラを模した
 投稿者：宮田忠正（長崎県）

2018年7月号



建物名：JR 東急目黒ビル
 設計者：(株)東急設計コンサルタント
 (株)ジェイアール東日本建築設計事務所
 施工者：東京ガス(株)
 解説：GHP のテナントごとの計量用ガスメーター（整然と並んだガスメーター群が美しい）
 投稿者：小内 寛（ジェイアール東日本建築設計事務所）

2018年8月号



建築設備：水都の泉
 設計：大垣市役所 市街地整備課
 解説：水の豊富な地域大垣を象徴する自噴水と機械で制御した機械噴水とのデュエット。夜は、さらに光ファイバーも加えたアンサンブル。駅前公園として異彩を放つ。
 投稿者：丹羽敏仁

2018年9月号



建築名：秋田市庁舎
 設計：竹部友久（撮影者）・星野聡基（(株)日本設計）
 解説：雪国秋田の空気熱源ヒートポンプ。強そうできみしそう（モアイ像？） まさかのグッドデザインに驚きました。
 投稿者：星野聡基

2018年10月号



建物名：竹中工務店東京本店社屋（屋上）
 設計：白鳥泰宏（株）竹中工務店 設計部（他数名）
 解説：東京の空に向かう屋上のソーラーパネル。彼方のスカイツリーがパネルを守る避雷針に同化する。
 投稿者：白鳥泰宏

2018年11月号



建築設備：送水口
 設計：不明
 解説：太陽に照らされ、凍と立つ送水口。鏡面仕上げの輝きと、堂々とした存在感に美しさを感じた。
 投稿者：緒形浩佑（大林組）

建築設備士 11

竣工ラッシュ
 上越市立水産博物館 うみがたり
 NICCA インベーションセンター
 広小島クロスタワー・旧名古屋銀行本店ビル
 御園産タワー

一般社団法人 建築設備技術者協会

2017年3月号



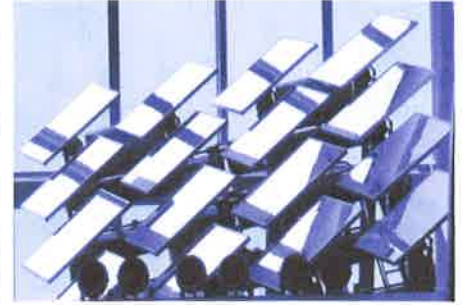
建物名：ホテルオリオン モトブ リゾート&スパ (沖縄県)
 設計者：村松宏 (日建設計)
 解説：バックヤードで見掛けた貯湯槽の絶妙な陰翳。美は設備にも宿る。
 投稿者：野部達夫 (工学院大学)

2017年4月号



建物名：糸満市庁舎
 設計者：榎木学 (日本設計)
 解説：RCルーバーとPVパネルが建物を印象的に包み込む。
 投稿者：野部達夫 (工学院大学)

2017年5月号



建物名：大成札幌ビル
 設計者：高橋章夫、梶山隆史 (大成建設)
 解説：整然と並んだミラーが北国の陽光を追い掛ける。
 投稿者：野部達夫 (工学院大学)

2017年6月号



建物名：東京ガス平沼ビル
 設計者：丸山純、塩出和人 (松田平田設計)
 施工者：杉山聡 (大林組) 日比岡一 (新菱冷熱工業)
 解説：エッシャーの無限階段を想起させる配管群
 投稿者：野部達夫 (工学院大学)

2017年7月号



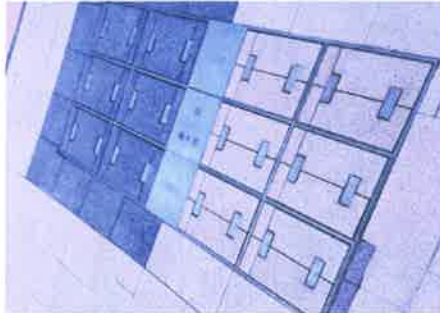
建物名：コープ共済プラザ
 設計者：村松宏 (日建設計)
 施工者：木下博史 (前川製作所)、萩原正人 (フジタ)、
 柚木光吉 (きんでん)
 解説：熱、光、緑、超高層のコラボレーション
 投稿者：村松宏 (日建設計)

2017年8月号



事業者：大阪エネルギーサービス他
 建物名：大阪エネルギーサービス第2プラント
 設計：三菱地所設計 高田 修、大林組 島 潔
 施工：大林組、高砂熱学工業
 解説：「美しい熱源機械室を作る」という決意のもと、
 配列や色使いにこだわり仕上げられた機械室
 投稿者：大林組 島 潔

2017年9月号



建物名：JPタワー NAGOYA
 設計者：佐々木真人、浅井万里成 (日本設計)
 施工者：井上健志 (竹中工務店) 宮本有二 (日比谷総合設備)
 解説：重荷重に耐え、検針員を献身的に支える小剂量水器蒸
 投稿者：佐々木真人 (日本設計)

2017年10月号



建物名：ヤンマー本社ビル
 "YANMAR FLYING-Y BUILDING"
 設計者：日建設計 (水出喜太郎・杉原浩二)
 施工者：竹中工務店
 解説：紺碧の空にそびえる冷却塔のスタックダクト
 投稿者：野部達夫 (工学院大学)

2017年11月号



建物名：雲南市役所新庁舎 木質チップのサイロ
 設計者：竹部 友久 (日本設計)
 解説：私の故郷である雲南市の里山再生により生み出される
 木質チップ。珍しいサイロ室の様子を記録に一枚。
 投稿者：竹部 友久 (日本設計)

2018年1月号



事業者：嘉麻太陽光発電所
 施設名：嘉麻第一太陽光発電所 (福岡県)
 設計：高司 健二 (関電工)
 施工：関電工
 解説：青空に浮かび上がる22kVコンクリート柱装柱
 投稿者：中川 徳仁 (関電工)

2018年2月号



建物名：藤久ビル東5号館
 設計者：村松 宏 (日建設計)、小澤 諭 (日建設計)、
 千葉美幸 (日建設計)
 解説：エアフローファンの発停と自然換気を促す
 「環境調整スイッチ」
 投稿者：村松 宏 (日建設計)

2018年3月号



建物名：松浦軒本店 (岐阜県恵那市岩村町) 設計者：不明
 解説：長崎伝来のカステラが有名な創業寛政8年(1796年)の和菓子屋さん。お店は伝統的な町屋。店の奥には、天窓から光ダクトに導かれた明るい光が降り注ぐ。天窓は、ひもで開閉が可能な構造になっている。
 投稿者：坊垣和明 (東京都立大学名誉教授)
 出典：民家のしくみ (坊垣和明著、2008年、学芸出版社)